

# ぽこ・あ・ぽこ

Poco a Poco イタリア語で「少しずつ」という意味です。

第62号 平成18年5月1日 発行

発行者 神戸婦人同協会 子供の家  
社会福祉法人 兵庫県尼崎市若王寺3-16-3  
〒661-0974  
tel 06 6491 2953 fax 06 6498 3444  
支援センター (tel, fax) 06-6491-1811  
E-mail (子供の家) info@kodomono-je.org  
(支援センター) pandy@kodomono-je.org  
URL <http://www.kodomono-je.org>

「誰が仕切っているの？」  
新年度の始まりに

施設長 三浦 正

ある日の下校時、いつものように門のところ子どもたちを迎えていたときのことです。「ここ（施設）を仕切っているのは園長先生やる。」と言われてびっくりしてしまいました。「仕切る」という言い方にもびっくりですし、質問の内容にも度肝を抜かれてしまいました。

「仕切る」という表現は学校の友人間で日常的に使われている言い方だろうと察する事ができましたが、内容の方は迂闊には答えられないぞという危険信号を感じてきたのです。何かの魂胆を感じ、また応答によってはおもしろいやんすとも思えるし、冗談としてしまう事もできるしなどなど考えるのですが、何にしても時間がないう。一秒位の「間」しかないわけです。

子どもたちの質問はいつものこととです。突然におもしろい質問があつて毎日が真剣勝負のようです。その時も事務長や指導員の名を出して笑いの場面によつと思つ

た途端でした。口から出たのは、「Y」と違つて、神様やで。」というものでした。

「エー。」というがっかりしたYくんのために、屋上塔屋のマークを示して「あの印はな、十字架や。あの辺りからいつも神様が見て仕切ってるんやで。」と説明すると「ふうーん。」という納得のような諦めのような返事。神様が相手では勝てそうもない事がわかつた様子でした。

新しい年度が始まり、また子どもたちのおもしろい質問がとびだすことでしょうか。平成十八年度もまたいつも神様に「仕切られ」、守られながら施設の運営に当たつていこうと思つております。



## 新任職員のご紹介

今年も八人の新しい職員が子供の家の仲間入りをしました。よろしくお祈りします。

まだまだ不安や緊張が取れず毎日勉強の日々ですが、子どもたちの成長を身近で感じることができると共に子どもに癒されることもよくあります。また、職員になり約二週間が過ぎ子どもとの関係性も

一歩一歩ゆっくりと築けているように思えます。力不足でわからない事もありますが、一生懸命頑張りますので宜しくお願いします。

(竹下沙弥子)

四月一日より、子供の家の職員となりました。子どもたちに好かれる職員、メリハリのある職員として頑張っていきたいと思つています。幼児室担当でいろいろとご迷惑をおかけすることもありますが、よろしくお祈り致します。

(山口紋加)

まだまだ覚える事が多すぎて不安になる事もあります。一つひとつ身に付けて頑張っていきたいと思つています。これから何が起つてもチームワークを大切に、乗り越えていきますので、よろしくお祈り致します。

(井林郁江)

関西福祉科学大学を卒業して、児童指導員として四月から「子供の家」で働かせていただく事になりました。勤続十年を目指して、まずは最初の一年を一生懸命頑張りたいと思つています。未熟な点多いとは思いますが、ご指導と共にこれからよろしくお祈りします。

(井上陽太)

四月から女兒フロアー担当となりました。まだまだわからない事が多く、先輩職員や子どもたちにも迷惑をかけてしまう事があると思います。早く仕事を覚え、一杯がんばっていきたいと思いません。よろしくお願ひします。

(阿武美都)



四月から子供の家で調理員として働く事になりました。子どもたちに栄養面を考えた食事を調理し、心や体の成長へと繋がる食事を提供して、食の楽しみを知ってもらえるように頑張りたいと思ひます。また、心のこもったご飯を作り自分自身も共に成長していけるようにしていきたいと思ひます。これからもどうぞよろしくお願ひします。

(梶尾暁愛)

毎日、何をするにも戸惑い、勉強の日々ですが、やりがいを感じています。子供の家では、食事前後の挨拶・手洗い、後片付けの手

伝いなど食事マナーも身に付けることができる場だと、子どもたちを通して実感しています。子どもたちが心身ともに健全に発達する事を願って、この仕事をしていきたいと思ひます。

(菅野彩乃)

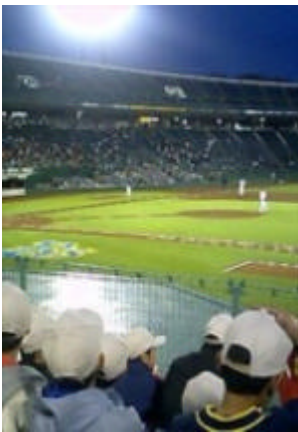
## 入園式・入学式

桜が咲く季節になり、桜の花びらが舞い散る中、幼稚園、小学校、中学校、高校の入学式、入園式がありました。真新しいランドセル、制服を身につけ、新しいスタートが始まり、子ども一人一人の顔が輝いて見えました。そんな子ども達の姿を見て、また感動を覚えながら、職員も新しい顔ぶれが加わって新年度を迎えました。新一年生に負けないよう職員も協力し合っただけで子ども達にとつてより良い援助が出来るよう日々努力していきたいと思ひます。



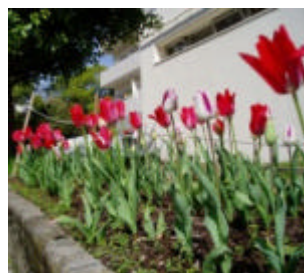
## 野球観戦に行ってきました

平成十八年四月十九日(金)オリックス・バファローズの吉井投手と光原投手から野球観戦(オリックス対ソフトバンク)のご招待を受けてスカイマーク・スタジアムに男児四名、女兒三名、職員一名で行って来ました。試合は延長戦となりましたが、野球好きな子ども達は最後までオリックスを応援していました。十回裏のオリックスの攻撃でソフトバンクの二度のエラーから最後に北川選手のサヨナラ・ヒットで勝ち、子ども達は大興奮していました。また、吉井投手と光原投手がオリジナルのキャップを下さったり、試合の途中で花火と川嶋あいさんの歌もあり、満足した一日になりました。尚、六月十六日の阪神対オリックス戦のご招待も受けています。本当に有り難うございます。



## チューリップの花が満開です

兵庫県クリーニング生活衛生同業組合の皆様がくださった三百個のチューリップの球根を昨年の十一月に子ども達が植え、今、満開なつています。



## 編集後記

桜の花も散り、木々には新緑の芽がめばえています。四月から新たな職員も加わって慌ただしく始まった新年度でしたが、漸く子ども達も落ち着いた生活に戻っています。四月に入ってから子供達の家の園庭には、鯉のぼりが爽やかな風を受けながら勇ましく泳いでいます。子ども達も、早く鯉のぼりの様に家族揃って一緒に泳げる様にと職員一同が願っています。(中尾)



o

---

---

---